

## ～健康分野における官民連携の推進～ 豊橋市健幸なまちづくりパートナーシップを締結します

この度、豊橋市は、誰もが生涯にわたり健やかで幸せに暮らすことができる社会（健幸なまち）の実現のために、下記の事業者と「豊橋市健幸なまちづくりパートナーシップ」を締結し、それぞれが保有する資源を活用し、市民の健康課題解決に向け、相互に連携して取り組む事業（「連携事業」という。）を推進していきます。

今後も、健幸なまちづくり推進のため、連携していただけるパートナーを募集し、パートナーシップを締結していきます。

カゴメ株式会社と豊橋市健幸なまちづくりパートナーシップを締結



×



### 1. 会社概要

社名 : カゴメ株式会社

代表者 : 代表取締役社長 山口 聡

所在地 : 愛知県名古屋市中区錦3丁目14番15号

設立年 : (創業) 1899年 (設立) 1949年

主な事業 : 人の健康長寿に貢献するための研究開発、品種開発や加工技術の開発。トマトにおいては農業から調達、生産、加工、販売と一貫したバリューチェーンを持つ。2018年より野菜摂取の増加を中心とした食生活改善を促す健康事業を展開。

### 2. パートナーシップ締結までの経緯

令和3年10月27日に開催された「ガバメントピッチ in 中部（主催：中部経済産業局）」において、本市健康政策課が発表した糖尿病予防に関する課題に対し、カゴメ株式会社とエーテンラボ株式会社の共同で課題解決の提案があった。糖尿病予防のため具体的な取組を連携・実施していくために、この度のパートナーシップ締結に至った。

### 3. 連携事項

(1) 市民の健康寿命延伸に向けて、食生活・栄養バランスの面から行動変容を促す取組

### 4. パートナーシップ締結日 令和4年8月10日

※本パートナーシップ締結事業者として、3者目となります。

## 5. カゴメ株式会社 健康事業部 信田幸大 氏（実証研究責任者）よりコメント

厚生労働省が推奨する1日の野菜摂取目標量は350g<sup>※1</sup>ですが、1人当たりの平均野菜摂取量は約290g<sup>※2</sup>であり60gの野菜が不足しています。特に、20-50代の勤労世代では、他の世代と比較して野菜摂取量が低くなっています。

これまでカゴメ株式会社では、管理栄養士資格を有する社員によるセミナーを中心とした野菜摂取を動機づけるコンテンツ、野菜飲料などを活用した職場で野菜が摂取しやすい環境の提供、さらに手のひらをセンサーに乗せるだけで自分の野菜摂取量がわかるベジチェック®（写真）のレンタルといった実行支援コンテンツといった食生活改善サービスを提供することで、勤労者の野菜摂取量増加を手助けしてまいりました。その中で、お客様より、社内で健康サービスを提供してもいつも同じ人ばかり参加する、健康に関心がない人は積極的に参加してくれない、特に若手の参加率がよくない、といったお声を聴いておりました。

そこで、今回は健康への関心が薄い人や、若手従業員のような現在の健康状態に不安を感じにくい人でも、積極的に参加してもらい、かつ満足度が高まるような仕組みを検討しました。今回は豊橋市様にご協力いただき、考案した健康サービスが勤労者の皆様の野菜摂取量増加に貢献することができるのか、を検証してまいります。

※1：「厚生労働省 健康日本 21」が推奨する1日の野菜摂取目標量は350g。

※2：平成22年～令和元年国民健康・栄養調査（厚生労働省）での日本の1人当たりの平均野菜摂取量は約290g。



写真 2. センサーに手のひらをのせるだけで推定野菜摂取量が表示される『ベジチェック®』



×



## 1. 会社概要

社名 : エーテンラボ株式会社

代表者 : 代表取締役 CEO 長坂 剛

所在地 : 東京都中央区日本橋二丁目 1 番 17 号丹生ビル 2 階

設立年 : 2016 年

主な事業 : 「みんなが行動変容できる世界をつくる」ことをビジョンに、  
三日坊主防止アプリ「みんなチャレ」を開発・運営。

## 2. パートナーシップ締結までの経緯

令和 3 年 10 月 27 日に開催された「ガバメントピッチ in 中部（主催：中部経済産業局）」において、本市健康政策課が発表した糖尿病予防に関する課題に対し、カゴメ株式会社とエーテンラボ株式会社の共同で課題解決の提案があった。糖尿病予防のため具体的な取組を連携・実施していくために、この度のパートナーシップ締結に至った。

## 3. 連携事項

(1) 市民の健康寿命延伸に向けて、健康訴求だけではなく新たなアプローチによって行動変容を促す取組

## 4. パートナーシップ締結日 令和 4 年 8 月 10 日

※本パートナーシップ締結事業者として、4 者目となります。

## 5. エーテンラボ株式会社 事業開発 渋谷 恵 氏よりコメント

豊橋市様、カゴメ様、アカデミアの皆様とご一緒に、糖尿病予防のための野菜摂取向上プログラム実証事業を開始できることを感謝しております。今回、習慣化アプリ「みんなチャレ」にて、個人の健康行動がご自身の健康だけでなく、地域の社会貢献にも寄与する仕組みを提供します。豊橋市民の方が、楽しく野菜摂取が行えるようになり、ひいては糖尿病予防の実現に貢献することを目指します。



① 1人でがんばり  
続けるのはたいへん...



② 同じ目標を持つ  
5人1組のチームに参加!



③ 食事や歩数を  
チームに写真で報告!



④ いい習慣で毎日が  
楽しくなる

習慣化アプリ「みんなチャレ」の仕組み

## 6. 令和4年実施事業の紹介

令和4年度は、豊橋市・カゴメ株式会社・エーテンラボ株式会社の3者で連携事業（実証実験）に取り組んでいきます。

※現在、調整中のため、実施内容を変更する場合があります。

### 実証実験

「健康経営向けSDGs 貢献につながる みんなで野菜食べようチャレンジ」

目的：行動した成果がSDGsへの貢献につながることを提示する栄養教育プログラムが、勤労者の野菜摂取に与える影響を探索的に検証する。

内容：

- (1) 野菜摂取の動機付けコンテンツの提供
- (2) 野菜飲料による環境サポート
- (3) 職場での推定野菜摂取量測定装置（ベジチェック®）の設置
- (4) アプリ「みんなチャレ」を活用した複数人のグループによる野菜摂取チャレンジ
- (5) 「みんなチャレ」の活動状況に応じた、地域への寄付プロジェクト

対象：市内企業の従業員（20代～60代） 200名

期間：令和4年度8月～1月のうち実証期間3か月間

実証実験を通じて目指すビジネスモデル

